普及現地情報

発信年月日：令和8年(2026年)10月21日
所　属　名：高島農産普及課
番　　号：H26016
発 信 者 名：三溝、吉岡、大﨑

高島市オリーブ産地化推進協議会の報道発表を支援！
～本格収穫を迎え、キャラクターや今後の取組を発信～

高島オリーブが約400kgの本格的な収穫を迎えた今年、多くの人に高島オリーブや関連イベントを知ってもらうことを目的に、9月29日、高島市オリーブ産地化推進協議会（生産者、JA、商工会、観光協会、市、当課などで構成（以下、協議会））が報道発表を行いました。

高島市では、令和2年度から遊休農地にオリーブを植栽し、特産化により地域活性化を目指す取組を進めています。当課は、高島の農業の支える関係人口の増加を目標に、北の近江振興プロジェクトを事業化し、産地戦略の策定、栽培技術の習得、加工品開発、ブランド化、農作業応援体制の構築等あらゆる分野で包括的な支援を行ってきました。

報道発表では、高島オリーブのブランド化に向けてキャラクターやキャッチコピーをお披露目し、生産者らがオリーブにかける熱い想いを語りました。当課は、ブランド化に向けた話し合いのコーディネートや商標登録に向けた取組、本発表の企画から開催まで支援を行ってきました。また、会場で提供したオリーブの塩漬けは、滋賀県農山漁村発イノベーション支援制度を活用して市内の漬物会社と共に加工方法を検討して出来上がった試作品です。複数のテレビや新聞で報道されたことで認知度が高まり、関係人口の増加につながることが期待されます。

高島オリーブのイベントとして、11月にモニターツアー、翌年1月にオリーブの商品・メニュー発表会を開催します。今後も地域活性化に向け、多岐にわたる分野での支援を続けていきます。



協議会による報道発表の様子



キャラクター「オリーにゃ」とオリーブ商品